



圖画

通俗大聖傳

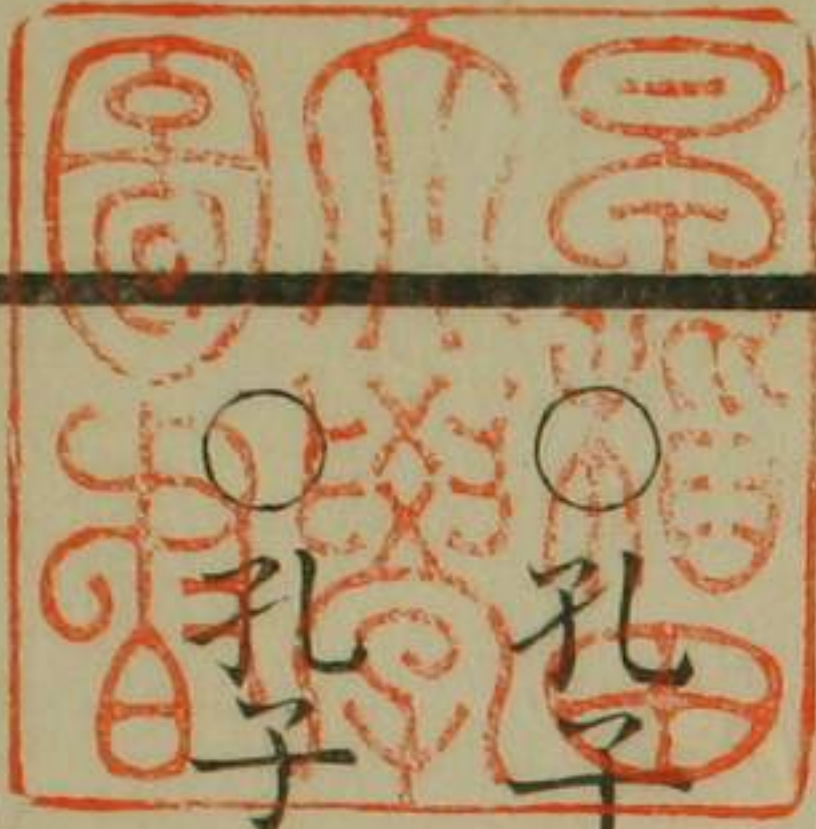
二

遠
992
2



遠門
號 992
卷 2

橫
松
清

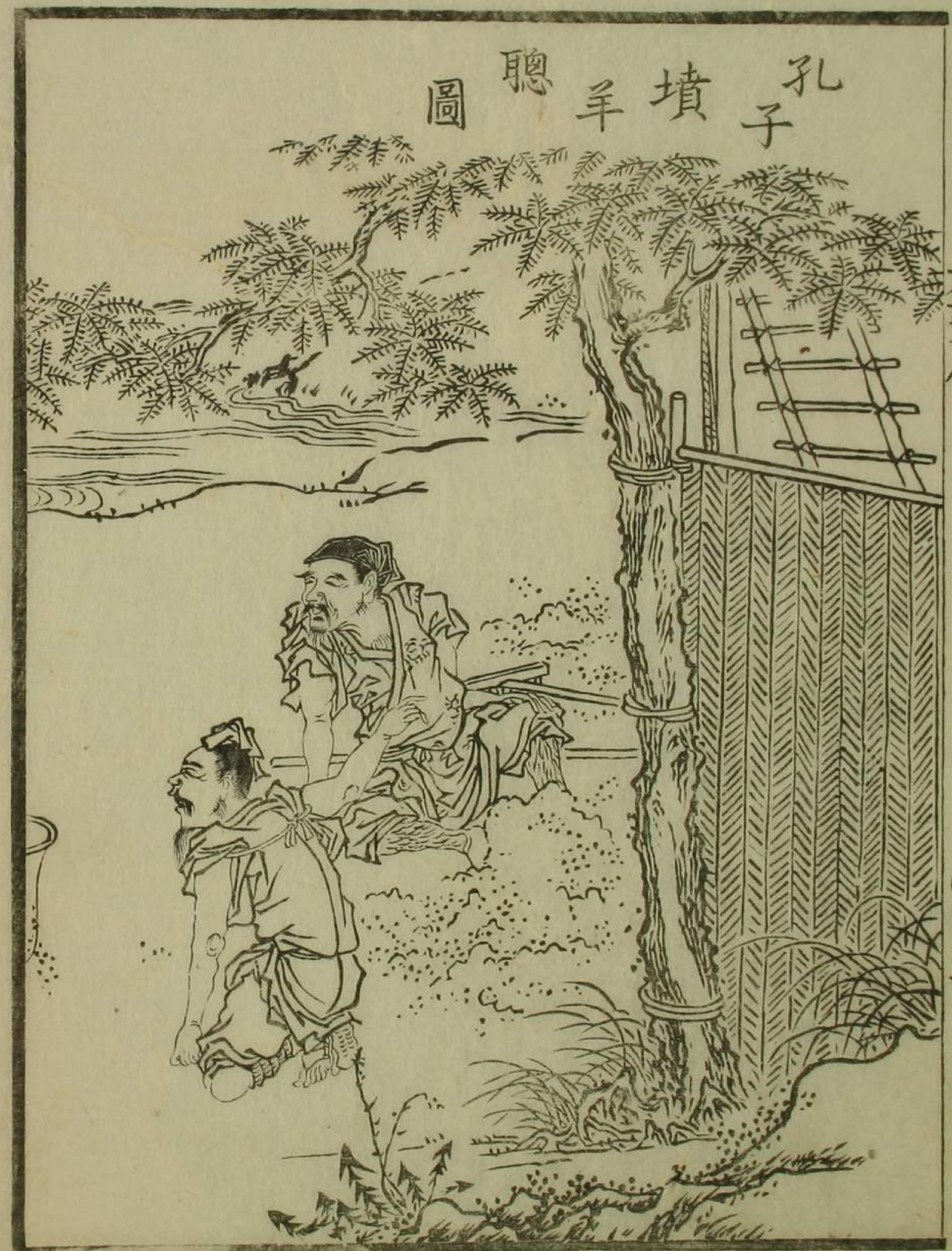


孔子一世大聖畫傳卷之中

目錄

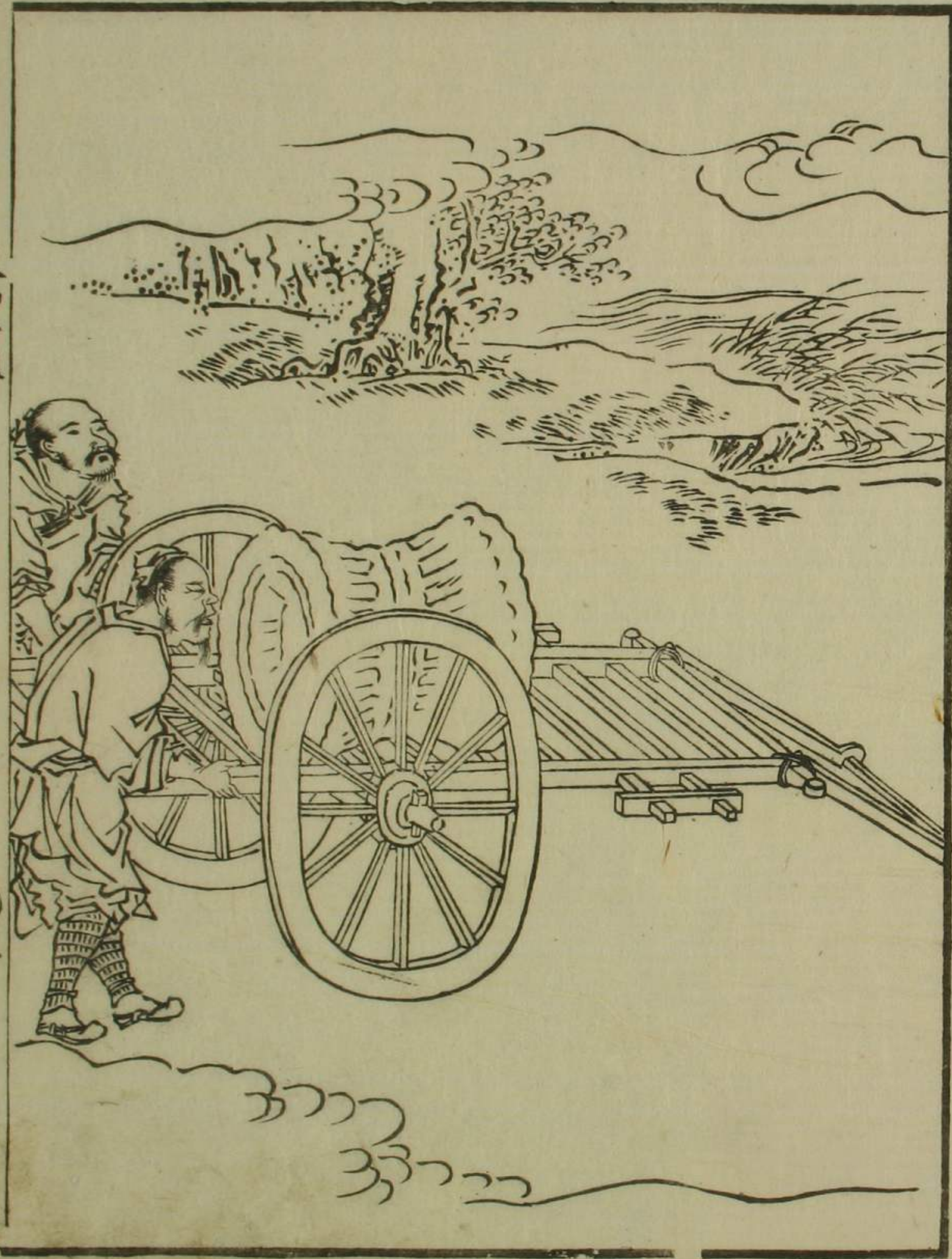
- 孔子墳羊聰圖
- 孔子見防氏推骨圖
- 魯定公受齊女樂圖
- 孔子勤學圖
- 孔子聽訟圖
- 孔子夾谷會平夷圖
- 孔子見黃口雀圖





大聖傳

中



大聖傳



孔子見防風氏推骨圖

大聖傳



大聖傳

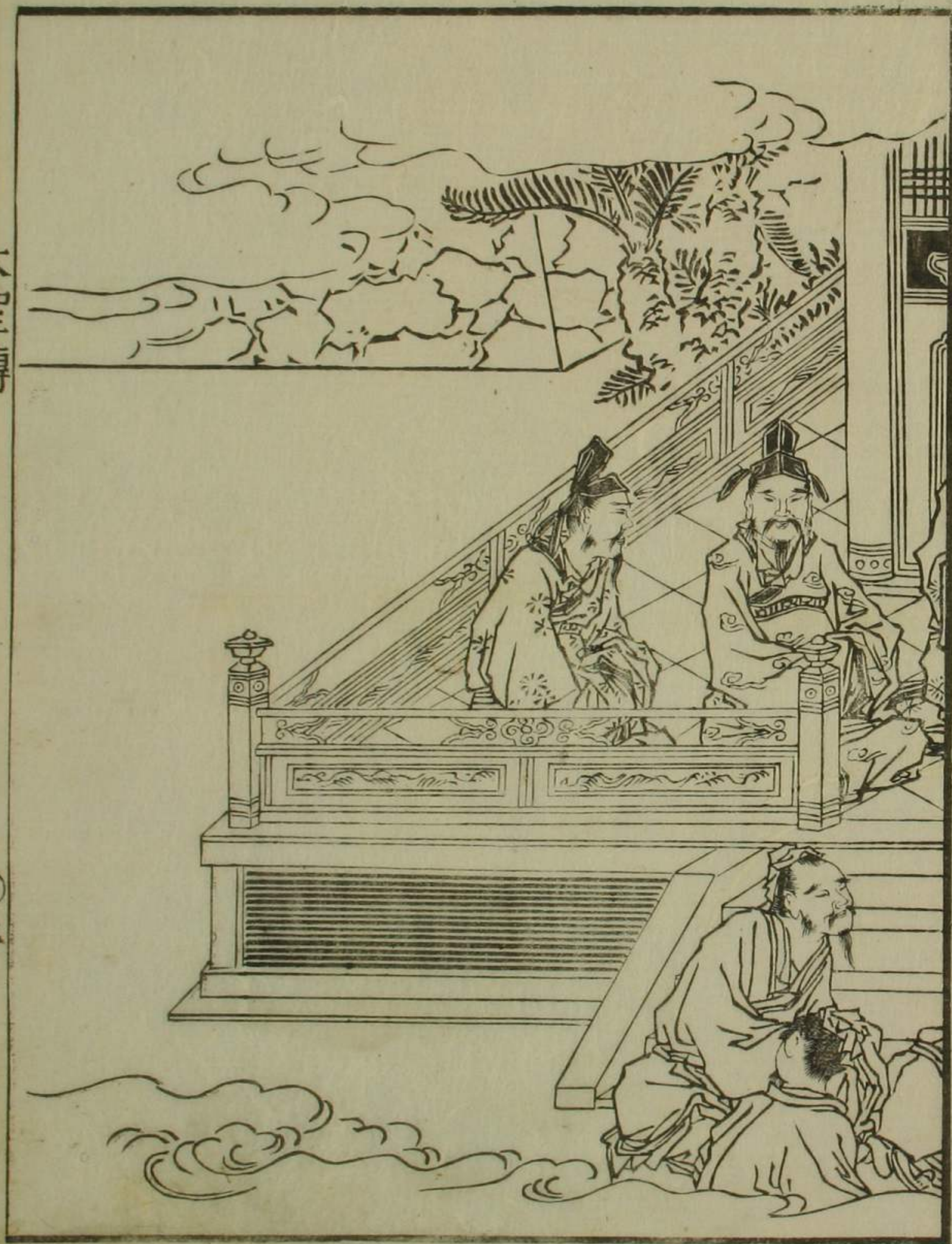


魯定公受女齊樂圖

大聖傳



孔子
子勒
學圖



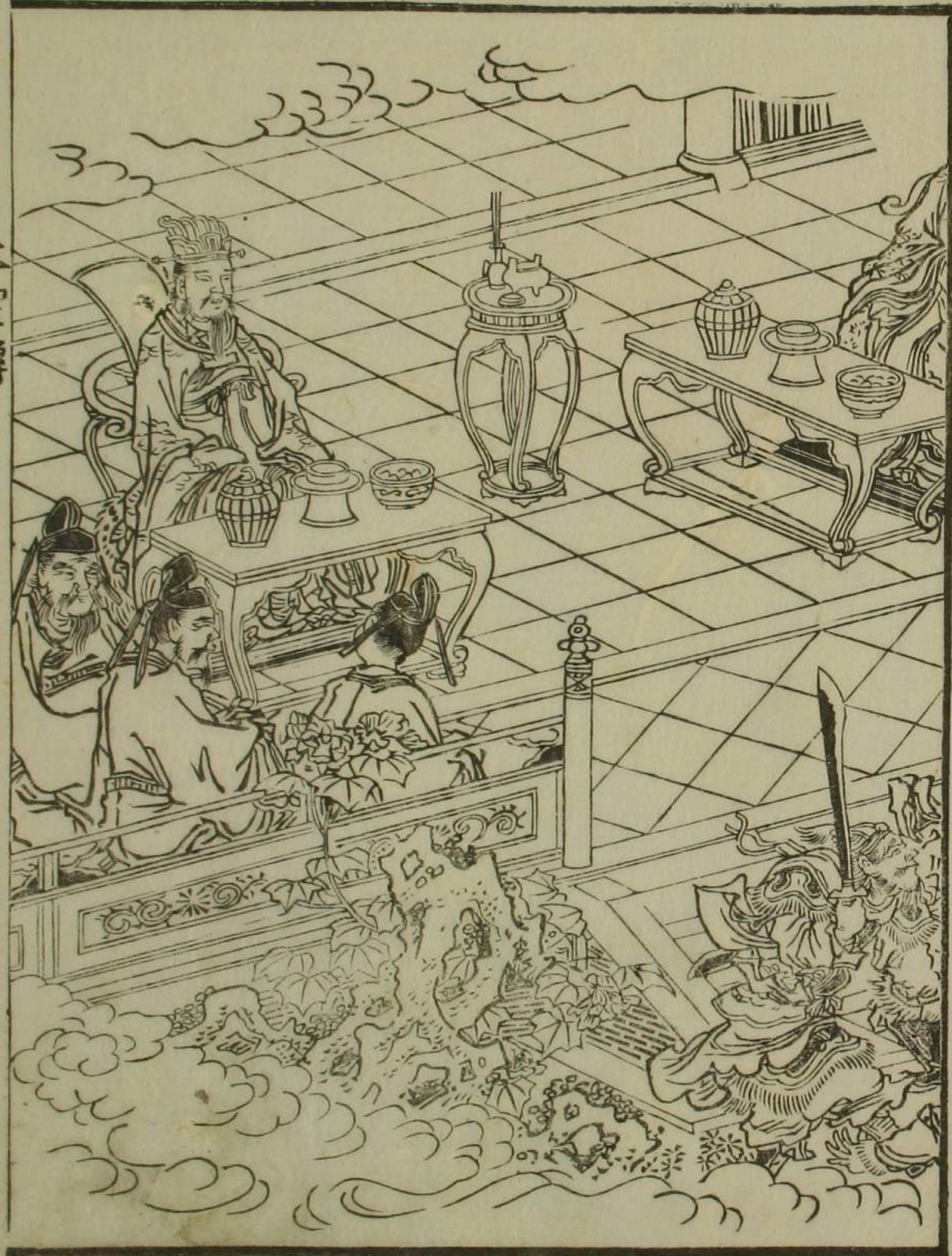
六部傳

六



六部傳

六



孔子夾谷會平夷圖



孔子見黃雀



大聖傳卷之二

然ふ小魚の定公十二年孔子の弟子子路季
 相子が宰とある。魯の大夫叔孫氏季氏孟孫氏の
 三家魯の君定公よりも勢ひ強くして領地の城
 郭用害堅固なれば領地とありは陪臣
 いまのややく執かひ盛まりて。魯の大夫等も是を懼
 りふ程ありたり。子路其用害と頼るも高と
 ち。長く魯の患とねふづる事と恐れたり。
 孔子も是は恐れぬひ三家の領地がさうか。費
 師成三が如の城と墮とてさへ定公曰定

公是子同心して先叔孫氏が領地あり。郕と云
知の城と墮あり。夫より季子栢子が領する費
と墮とを費の宰する公山不狃是子順
と一なり。叔孫輒と云者とも謀りて費乃
民と率て魯の都と襲る。定公大不敵馬
て。孟孫叔孫の二人と共に季子栢子が宮へ入つ
臺へ登るといひ。公山不狃叔孫輒とも不
栢子が宮へ攻入つ。定公が登る。臺の側ま
る攻入り。定公大不懼。是時孔子も
定公に従ひ臺の上へあり。此と視りて

魯の大夫申句須樂頎と云二人の者命じて
是と防ぎ戦ふ。費の兵ども此勢ひを懼る
逃げ退れ。申句須樂頎と始。魯の兵是
と伐る。姑蔑と云知りて大に戦ひ費の兵は
敗る。於是乎不狃叔孫輒魯に居る。費の
不能して。公山不狃の困へ出奔せり。故に費の
城とを遂に墮。又孟孫氏は領地の成とを墮し
と云ふ。成の宰なる。公斂處父と云者孟
孫子仲孫也。成と墮は北に用害の地なり。
尙より必北の門に來り侵べり。又成は孟氏

と保障たもつちか知らぬ。成なりがた時と孟氏まうしなり。是
 我防かたがけ成なりと墮おちたさす多し。君は是
 偽いつはりくちくさるる多し。孟孫まうそん此
 言こと不順しんひくふ。然しかも成なりと墮おちたさす多し。
 公歛えん處ところ父成なりと堅固けんこ守まもりて忌おそらざり
 定公ていこう師しと出いでて圍かこむひくさるる。
 弗な克まして圍かこと解とき師しとくさるる。か
 くて定公ていこう十四年じゅうしにねん孔子こうし年ねん五十六歳ごじゅうろくさいあり
 大司寇だいしかう宰相さうさうとざりて。冉ぜん有ゆうと冉ぜん季せき
 該がい行こうひくさるる。是時このとき魚うい目めの大夫たいふなり。サ正せい郊こう。

と云い者もの。魯ろの法度はふたうと亂みだるる。孔子こうしこれと
 許ゆるむ少すく正せい郊こうと誅つとむ。孔子こうし政せいを行おこなひ
 三月さんがつよりて大子たいし治ちる。羔豚かうとんと賣うり者ものも
 移うつす。男女なんにょ往ゆ還かへする者ものも塗ぬりはりし。
 財寶さいほう路ろ遺いき。民たみ是このと拾ひろはざりし。
 齊せいの大夫たいふ等ら聞きてしひくさるる。孔子こうし政せいと
 ろさろ魚うい目めち必かならず覇は王わうとくさるる。
 天子てんしと輔ほ然しか不な時とき我國わがくに魯ろ近ちかく。魯ろの兵へい必かならず先まん
 我國わがくにと伐たつて。先年せんねん夾谷けいこくの會かいあり。魯ろの君きみ定てい
 公こうと却かへりくる。恨うらみと報むくむ。とて懼おそむ。

けり。荷の大夫犁鉏と云者。先嘗て魯の君
 子賄賂せんとす。荷の君此言を傾ひて。荷の
 國中の女子舞樂とせん好者八十人とせん。皆
 文衣ときや。又文馬三十匹。馬四匹と
 の君を遺す。魯の女樂文馬と魯の城の南に方
 高門の外に陳す。季栢子これを受けて定公
 も往く。女樂と觀ふ。終日して政を
 怠す。魯の女樂等が美人なりと愛して。日夜
 酒宴と催し舞樂とせん。政を聽さる
 る三日。於是孔子仕官を辭し去んと欲し

きて都を出。魯の南に屯と云知し。一宿を
 栢子。是と悔ふ。孔子夫より衛の國に
 適して。子路が妻の兄顔濁鄒が家子居
 あり。志す。魯の君靈公これと聞き。孔子
 を見魯に居し。一時。祿幾何得し。ひて
 問ひし。孔子魚曰。在てい奉粟六萬あり
 と曰。れば。衛もも。又粟六萬と以て扶
 持し。魯にきて。衛に居し。頃あり。時
 或人孔子と靈公を讒し。れば。孔子罪を獲
 と恐む。衛に居し。十月して

去つて又陳の國へ適人として。匡と云知と云き
 多し。先年魯の陽虎来て。匡と大ささかや
 多し。匡人陽虎と恨居たり。孔子
 の狀陽虎に似たり。匡と見て陽虎あり
 と思ひ。孔子と拘居する。五日及ぶ。未
 許諸弟子と大に懼れ。孔子懼也
 たり。時、衛の大夫甯武子と云人の
 無難匡とめ。夫より蒲
 と云知。適き多し。一月あり居り。又
 衛の國へ入り。賢者あり。大夫の蘧

伯玉と云人の家子居り。衛の靈公の
 妻夫人子南子と云あり。伯
 玉が家子使して孔子を見し。孔子辭
 して南子に見え。南子見
 子路これと悦。又靈公も見
 多し。再衛子居り。一月あり。或時
 靈公外へ出る。夫人南子と同車
 子乘。孔子と次乘し。車より
 孔子これと悦。吾未徳と好し。色と好か
 者として。又衛と去り。曹と云

國と過り。宋の國へ適す。是歳魯の君定
公卒去し。其子蔣と云人位し立。是と
魯の哀公と云。孔子宋の國に居たり。或時
大樹の下に。諸弟子は。礼儀と教居る。
孔子と惡殺んと云者。司馬ハハ。孔子
等。孔子と云。速し。此國と去んと曰。孔子曰。
天徳と云。予は生や。相難と云。予と如何や。
孔子ハ徳と天子得たり。故。相難と云。
如何孔子ハ殺ると得たり。やと曰。孔子曰。

孔子又宋國と去ッて。鄭の國へ適す。道と
弟子等後て孔子獨。郭と云。如の東門
行。鄭の國の人始。布子郷と云者
見。孔子の弟子子貢と云人。子貢ハ
東門子人。其額ハ堯に似て。其項ハ皇
陶子類。其肩ハ子産子類。然れ。腰
腰より下。禹王子及。三寸。孔子貢
是と孔子ハ告ふ。孔子笑て。状の。未
知。喪家の狗子似たり。とハ。孔子曰。

大聖傳

六

曰^レ々^リ。喪^ハあ^ルふ家^ノ子^ハ、疥^ハあ^ルふ人^ニ。狗^モ飲^ム食^ハ
 之^レ。瘦^シ衰^ム。孔子^モ亂^レ世^ニ生^キき^テあ^リて
 聖^人の道^ヲと行^フよ^リと不^レ得^ル。状^モ瘦^シ衰^ム
 へ^シひ^レ。故^ニ子^ハく^ハい^ハ。累^ニ之^レと^シ志^ヲ以^テ得^ルぬ
 貌^多。斯^ニ孔子^ハ陳^ノの困^ニ適^シひ^テ陳^ノ
 大夫^司城^ノ臧^子が家^ノ子^ニ居^ルよ^リ一^ニ歳^ヲあ^タ
 多^ク。或^レ時^ニ隼^ノ飛^来ま^リて陳^ノの君^湣公^ノ庭^ニ
 へ墜^リて死^ス。これと見^ルよ^リ。楛^ノ矢^ヲあ^タて射^ハ
 らぬ。其^ノ矢^ノ長^一尺^八寸^{あり}。鏃^ハ石^ハて
 つく^ふと^以て^レる^矢。湣^公あ^やし^ク使^シて孔子^ニ

問^フ。孔子^對て隼^ノの来^ルよ^リ遠^シ。これ肅^慎
 の矢^多。昔^周の武^王師^と起^シて。殷^ノの紂^ヲ
 王^ヲ克^ク。道^と九^夷百^蠻と通^ジ。九^夷は東^方の夷^ノ也^{ナリ}
 百^蠻は夷^狄各^其方^賄と以^テ貢^物とん^ル。方^賄は困^ノ
 の百^種。此^時肅^慎と^レ楛^ノ矢^と貢^ス。武^王
 令^テ德^ヲ昭^シせん^と欲^ス。陳^國の先^祖へ其^ノ矢^ヲ
 と分^カあ^タす。ひ^レと^レ曰^ク。湣^公
 試^シ。故^府と求^ム。果^シて楛^ノ矢^{あり}。湣^公
 と始^メ陳^人孔子^ノ博^物と感^トス。肅^慎と
 北^方の夷^ノの困^{なり}。韃^靼國^{の中}にあり。と

こゝろ射し多き子隼。矢とおひまが遠く
飛ぶ陳の困へおちきるなり。孔子陳子居をよ
り三歳にあつて。晋國楚國強と争ひそむ。
更陳と伐。又ハ吳國より陳を侵しけるふ
及。孔子又陳と去つて蒲と過るなり。蒲人公
叔と云者上子畔き。蒲と押領するが孔子と
さへとあて不許。時孔子弟弟子公良
孺と云ものあり。自車五乘とありて孔子に
後ひしが。其人賢なりて勇力あり孔子よひ
るも吾夫子に後て。前も匡より難よ

遇。今又此知るて再難に罹。是天の命あり。
今夫子の爲に闘て死をべしとて。闘し
甚疾し。蒲人これと懼きて。苟衛の困へ
ゆるり人を許して出きんとらひる故。孔子
固盟とててあり故。蒲人孔子と東に方
の門より放ち出たり。夫より又衛へ適多
きより子貢。盟ハ負きまどらひるなり。バ
孔子蒲人子盟ハ要盟なり。要盟ハ必し申し
聽くぬい故。負ける罪なりと曰。安んば
公も孔子の来りより喜で自國の外まで

遠く迎ひらひ出いるる。孔子衛えいに居ゐるる。
 靈れい公こう老らうに政せいを怠おこす。孔子と用もちぎらしるを。
 孔子歎たんして曰いハ。苟な我がと用もちけらればのつむ。
 一年いちねんよりて教しやう。三年さんねんよりて必かならくも困こ家けと治さす。
 覇は王わうともせんをいれして曰いはるる。於是こゝ孔子
 衛えいと去さる。爰こゝ又また晋しんの困この大夫たいふ趙てう相さう子しが
 領りやう地ちがある。中ちゆう年ねんと云い知ちの宰さいがある。佛ひつ肱こうと
 云い者もの。中ちゆう年ねんと押おし領りやうして趙てう相さう子しに畔はんきし使つかと
 して孔子と召よび。孔子ゆんとするに子路しよ悦えつむ
 一いちより前まへに夫子ふ子しはあまりにさして敬けい言げんあり。君きみ子しに不ふ

善ぜんとある者の困こは入いらずと曰いふ。今いま佛ひつ肱こうハ
 中ちゆう年ねんと押おし領りやう志しと云い。主人しゆじんは畔はんきし者ものあり
 ありと夫子ふ子しゆきたらぬんといふ。如何いか
 孔子こうしきて夫お至して堅けんののハ磨ま
 ども砥てい舞ぶにいて至いたるる。白はくののハ涅ねつどもも田でん
 びびと曰いぬ。これ孔子ハ聖せい徳とくあり故ゆゑに濁じやくは
 ありては汗あせと曰いふ。又また或ある時とき孔子こうし分ぶん
 子しとて小せう磬けいと擊うちをつつ。蕢くわいと荷か者もの孔子こうしの
 門かどと過かるる。磬けいと云いハ石いしをつつつるる。樂がくの器きあり。磬けい
 の音ねと云いハ世よと憂うれひをめめるる。の者もの

云やうハむありね。鼓石と云ふもよ。今世衰
ふ。聖人の道不行^{さざる}ち。行^なと思ふハ止^{やむ}べ
とらふて過^すれば。孔子是^{こゝ}を聞^きく曰^いつは此^{こゝ}賁
と荷^お者^のハ世^をと忘^{わす}れ^てあ^るふ者^{あり}。聖人の
道ハ左^さ様^{やう}ハ人^{ひと}あり^て世^よ無^な道^のあり^ては^なら^ず。
憂^{うれ}教^をと^かく^て民^をと治^をんと思^{おも}ふハ。是^{こゝ}聖^の
意^いあり^と曰^いは^る。又^{また}孔子^は琴^をテ^ひく^{こと}と
師^し襄^{じやう}と云^いふ人^{ひと}ハ学^{まな}び^しむ^まに^に其^{その}曲^{きよく}不^な進^{しん}曲^{きよく}
数^{かず}あり^て志^しあり^て学^{まな}び^しむ^まる^る十日^{じふにち}あり^て
と過^する^る曰^いつハ。さ^うぞ^う曲^{きよく}と熟^{じやく}し^て得^える^る。其^{その}

う^うち^ち黯^{あん}然^{ぜん}と^{して}黒^{くろ}幾^き然^{ぜん}と^{して}長^{なが}
眼^{まなこ}ハ羊^{ひつ}の物^{もの}と望^{のぞ}み^か如^{ごと}く。四^よ困^{くわん}子^し王^{わう}あり^て如^{ごと}く。
文^{ぶん}王^{わう}の徳^{とく}と^のべ^くは^な曲^{きよく}なり^てべ^くと曰^いは^る。
師^し襄^{じやう}席^{せき}と辟^{へき}て再^{さい}拜^{はい}し。夫^{その}子^こハ我^{われ}
師^しと^いは^るべき人^{ひと}あり^て。其^{その}曲^{きよく}の情^{じやう}ハ通^{つう}
る^ると^いは^る。師^し襄^{じやう}ハ魯^ろ國^{こく}の人^{ひと}あり^て。人^{ひと}ハ孔子^{こうし}琴^をテ^ひく^{こと}と^い
り^しと。多^{おほ}く^しハ。周^{しゅう}へ^いり^しき^き老^{らう}子^しハ。前^{ぜん}の^よ
世^よ家^けハ。孔子^{こうし}衛^ゑに^いて^し志^しと^得る^るなり^て。
西^{せい}の方^{ほう}晋^{しん}の國^{こく}子^し適^{てき}と^いは^る。上^{じやう}大夫^{たいふ}の精^{しやう}桓^{くわん}子^し
見^みんと^いは^る。思^{おも}ひ^しむ^まる^るが。其^{その}路^ろハ河^か水^{すい}と^いは^る。

六五傳二

大河あり。孔子^{コウシ}とある。多ひ。一時^{イツジ}晋の大夫
 竇鳴犢^{サイメイキョク}。舜^{ジュン}華^カ。と云。二人の者殺^{ころ}して。りしと
 耳^{みみ}多ひ。河水^{カヘ}子臨^{リン}て。歎^{なげ}して曰^いハ。河水^{カヘ}洋洋^{ヤウヤウ}として
 義^ぎ哉^や。我^{われ}此河^{ココカヘ}と不^ふ濟^ジハ命^{めい}なり。彼^{カノ}二人^{ニヒト}ハ晋の
 賢^{けん}人^{ニヒト}あり。趙^{シヨウ}栢^{ハク}子^シ未^ま已^いが志^しと得^える。時^{トキ}ハ彼^{カノ}二
 人^{ニヒト}志^しが^ガひ^ヒが。志^しが得^える。ふ^ふ及^{およ}て。是^{コノ}と殺^{ころ}す。是^{コノ}
 不^ふ義^ぎあり。鳥^{トリ}獸^{シム}も^も不^ふ義^ぎに居^ゐる。况^況我^{われ}子^シも^もき
 て。曰^いて。趙^{シヨウ}栢^{ハク}子^シ見^まる。子^シとやん。還^{かへ}る。の^の
 後^{ノチ}に^ニ。厥^{クワク}操^{ソウ}と云^い曲^{まが}とつ^つりて。これと哀^{あは}しむ。い^いる。と^と
 大^{ダイ}聖^{セイ}王^{ワウ}傳^{デン}卷^{クワン}之^ノ二^ニ終^{ハシ}

横松清貞

